

まつチャレ通信



皆さん、こんにちは！暑さが日に日に増し、夏の訪れを感じる季節となりました。今月の「まつチャレ通信」では、地域での活動が広がる中、身近なクラブを紹介する「コーディネーターが行く！まつチャレPICK UP」第3回をお届けします。また、読者の皆さんから多く寄せられた「小学校の金管バンドの地域移行」に関する質問についても特集しています。ぜひご覧ください。



コーディネーターが行く！まつチャレPICK UP（第3回）

今月も、あなたの身近にある「まつチャレ」を紹介します。

今回は、創設5年目を迎える卓球クラブと、児童生徒に大人気のバドミントンクラブをご紹介します。



卓球スタジオすまいる

代表：鎮西 直人

活動場所：信明中学校、南原卓球スタジオ

「卓球を教えているんじゃないんです
人間力を高めているんです」



このクラブが創設されて5年を迎えます。訪問した日も、市内各地から小中学生約30名の子どもたちが、信明中学校の柔剣道場に集まってきました。8台の卓球台が準備され、それぞれの台ごとに、レベルそった課題に向けて、黙々と卓球を打ちあっている姿がありました。指導者の鎮西さんは、「卓球の試合は、最後は人間力で決まるんです。」「これからの社会を生きていく子どもたちを応援したい。卓球を通して得たものを役立てて欲しい。」と願いを語ります。今年、このクラブで力をつけた子どもたちが県大会で好成績を収めたり、あるいは中国遠征に選出されたそうです。「努力、感謝、笑顔（すまいる）」を信条とする「卓球スタジオ すまいる」は、今後も多くの子どもたちを成長させていくのでしょう。

HP：<https://takkyustudiosmile.crayonsite.info/>
連絡先：takkyu.studio.smile@gmail.com（鎮西）



チーム六等星 バドミントンクラブ

指導：小泉 辰哉

活動場所：源池小学校

「最初はほとんど見えない星でも
いずれは輝く星となる」



小学2年生から中学3年生まで約40人の子どもたちが練習していました。汗を飛ばしながら振り切るスマッシュ、一步先のシャトルを必死に拾い上げようとするフットワークに、見ていた私にもその熱意意込みが伝わってきます。週末の県大会に向けて、今日の練習は最後の追い込み。

「この子どもたちは、みんなまじめなんです。一生懸命に練習しています。」と代表者の小泉さんは語ります。「遠くは1時間かけて練習に通ってくる子もいるんですよ。」だから、その結果が表れてきているのでしょうか。そんな子どもたちを指導者の方々や保護者がみんなで応援している雰囲気があるクラブでした。

HP：<https://www2.hp-ez.com/hp/sixstar/page1>
連絡先：bado_tk9668@yahoo.co.jp（小泉）





読者の皆さんからいただいた意見にお答えします！

Q

小学校の金管バンドについても、地域移行を検討してもらえませんか。

A

ご指摘のとおり、小学校における金管バンド等の活動についても、将来的には地域での実施の可能性を視野に入れていく必要があると考えています。



ただし、現在は中学校の部活動の地域移行が大きな転換点を迎えており、まずはその円滑な移行と定着を優先的に進めている段階です。小学校の活動については、今後の地域移行の進展状況や地域の受け皿の動向を注視しながら、丁寧に検討していくことが必要と考えています。



こうした中、山辺小学校では、地域の楽器店である(株)ミュージックプラザオグチの成澤さんのご協力のもと、金管バンドの活動をいち早く地域に移行しました。今回、その取組みの背景や、地域で支える意義、実際の工夫などについて、美ヶ原ジュニア・ウィンド・オーケストラの地域指導者である成澤さんにインタビューを行いました。ぜひ参考にいただければ幸いです。

—— 美ヶ原ジュニア・ウィンド・オーケストラを発足した経緯についてお聞かせください。

最初のきっかけは、ある日、小学校の金管バンドが終わることを担当の先生から聞いたことでした。私は20歳の頃からこの業界に関わっており、部活動の地域移行については耳にしましたが、「本当に活動が終わってしまうんだ...なんとかならないものかな」と思い、様々なアイデアを先生方と相談しました。しかし、現実はなかなか難しい状況でした。

私が事務局的な立場で関わったのは、里山辺で生まれ育ったこと。自分の子どもたちも金管バンドをやっていたことなどが背景にあり、「この地域の金管バンドをなんとか残したい」という思いがあったからです。そうした思いから自ら動く決意をし、教頭先生や教務主任の先生とともに、半年ほどかけて様々な課題を調整してきました。そして、ようやくこの4月、新たなスタートを切ることができたのです。

—— 楽器の置き場所等については、何かご苦労されませんでしたか？

その点については、教務主任の先生が学校内のことを親身になって相談に乗ってくださったおかげで、比較的スムーズに進みました。ただし、今後の課題としては、練習場所の確保ができるかどうか、特に冬季の練習場所や楽器の保管場所をどうするかといった点が悩みの種です。

—— 小学校の金管バンドが地域移行していくには、どのようなことが必要だと思いますか？

指導者不足の懸念から、小学校においても、合同バンドのような形での活動ができないかと考えています。こうした取組みが、企業に運営の一端を担っていただくことで支えられれば、もう一歩前に進むことができるのではないのでしょうか。さらに、地域と学校が互いに寄り添いながら関わり合うことができれば、より豊かで持続可能な活動の姿が見えてくるように思います。

—— 美ヶ原ジュニア・ウィンド・オーケストラとして、最終的に目指すところは何ですか？

子どもたちから「コンクールに出たい」という声が上がってくれば、コンクールへの参加も前向きに検討したいと考えています。今年12月には、中信地区小学校管楽器交歓演奏会への出演を予定しており、今後は地域の公民館にも活動を積極的にアピールしていくつもりです。お声がけをいただければ、地域の行事にも喜んで参加していきたいと思っています。

現在の夢は、山辺ワイナリーで演奏会を開催することです！

成澤さんの情熱がひしひしと伝わってきました。本当にありがとうございました！



まつチャレ一覧に掲載の団体数（令和7年7月28日時点）

スポーツ45団体・文化6団体 **合計51団体**（内令和6年度補助金受給団体は12団体、令和7年度補助金受給団体は5団体）



まつチャレ通信では皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。「こんな特集をしてほしい」などのご要望がありましたら、コチラから投稿をお願いします。→ <https://logoform.jp/form/N7tm/791864>